

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
HANAFUKU(放課後等デイサービス)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	年1回、保護者向け評価表を実施し、ご意見やご要望を把握する機会を設けています。評価結果は職員間で共感し、改善が必要な事項について話し合いを行い、支援内容や事業所運営に反映出来るよう努めています。	評価結果を保護者に十分にフィードバックできていない場合があるため、改善内容や取り組み状況をより分かりやすく発信していく必要があります。回収率の向上に向け、回答しやすい環境づくりや回答方法の工夫を行い、より多くの意見を反映出来るよう努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	当日に打ち合わせが難しい場合でも、後日必ず時間を設け、支援の様子や気付いた点、配慮事項について職員間で共有しています。共有した内容は今後の支援に活かし、支援方法の統一やより良い支援につなげられるよう取り組んでいます。	支援終了後に十分な打ち合わせ時間を確保できない日があるため、当日中に振り返り行える体制作りが課題です。後日共有となる場合でも情報の漏れや遅れが生じないよう、記録方法や情報共有の仕組みをさらに充実させて行く必要があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	保護者を通して学校行事や下校時刻の変更などの情報を確認し、送迎や支援に支障が内容対応しています。必要に応じて保護者と連絡を取り合い、情報共有を行いながら支援を実施しています。	現在は学校との直接的な情報共有や連携体制が十分ではなく、保護者を介した情報収集が中心となっています。今後は、保護者の同意を得たうえで学校との連携を進め、行事予定や下校時刻、児童の様子などを適切に共有できる体制づくりを進めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	現時点では、地域の児童発達支援センターとの連携や、スーパーバイズ、助言・研修を受ける機会には設けられていません。	児童発達センターとの連携体制が整っていないため、今後は積極的に関係づくりを進め、必要に応じて助言やスーパーバイズ、研修を受けられる体制を構築していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	放課後児童クラブや児童館との交流については実施出来ていませんが、令和8年度から土曜集団療育の際に園庭開放を実施している姉妹園に出向き、地域のこどもたちと自然に関わる機会を設けています。	放課後児童クラブや児童館との交流については実施できておらず、地域との連携が十分とは言えません。今後は園庭開放での交流を継続するとともに、地域の関係機関とも連携し、こどもたちが、地域のこどもと土関わる機会をさらに広げられるよう検討していきます。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	現時点では協議会等への参加は出来ていません。	協議会等への参加機会を把握し、今後は積極的に参加できる体制を整えていきます。地域の関係機関との情報共有や連携を深め、地域の課題や支援に関する情報を事業所運営や支援の質の向上に活かしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	夏祭りなどの行事を通して、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を設けています。行事では、子どもだけでなく家族同士が交流を深められるよう配慮しています。	行事は職員体制や参加人数の都合もあり、年1回程度の開催にとどまっているため、交流の機会が十分とは言えません。保護者会乃開催も検討していますが、現時点では、実施に至っていません。今後は開催方法や、内容を工夫し、保護者同士やきょうだい同士が継続的に交流できる機会を増やせるよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
非 常 時 等	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	現時点では、事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営は実施できてません。	地域住民との交流や地域に開かれた事業運営が十分でないため、今後は地域の方が参加しやすい行事やイベントの開催を検討していきます。地域とのつながりを深め、事業所への理解促進や地域交流につながる取り組みを進めていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現在アレルギーのある利用児童はおらず、事業所でおやつ等の飲食提供も行っていないため、食物アレルギーへの対応する場面がありません。利用開始時にはアレルギーの有無を確認し、必要な情報を把握しています。	現在は対象児童はいませんが、今後、食物アレルギーのある児童の利用や食物を伴う活動を実施する場合には、医師の指示や保護者との情報共有に基づき、適切に対応できる体制を整備していきます。

寺 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			